

【川口市】 校務D X計画

1. 現状と課題

本市では、平成30年度に、1つのシステム内で「グループウェア」「学籍・名簿管理」「出席管理」「成績管理」「保健管理」「教育計画管理」「個人管理」といった校務に関する様々な機能を提供する統合型校務支援システムを導入することで、教職員の負担軽減および校務の効率化を図ってきた。また、令和5年度には、これまで運用してきた機能に加え、「勤怠管理」「文書交換」機能を有する統合型校務支援システムへと更新することで、校務の環境を更に充実させてきたところである。

しかし、システムを閉域網で稼働させ、端末の設置場所を固定していることが、校務におけるクラウドサービスの活用が進まない一因となっており、G I G Aスクール端末とのデータ連携が課題となっている。

また、『「G I G Aスクール構想の下での校務D X化チェックリスト」による自己点検の結果』¹としても、全国的に「クラウドサービスを活用しきれていない」「F A Xの利用」「教員・保護者間の押印・署名が必要な書類のやり取り（不必要な押印・署名）」といった校務の効率化やペーパーレス化を阻害する要因が浮き彫りとなった。本市としても同様の状況であり、課題の解決が求められている。

2. 課題の解決に向けて

各種調査等で浮き彫りとなった課題の解決を重点テーマとして進める。

重点テーマ①『F A X・押印・署名の原則廃止に取り組む』

(1) F A Xの原則廃止への取り組み

- ・学校と教育委員会とのやり取りについては、教職員1人1人にメールアドレスを付与しているため、電子メールや校務支援システム「文書交換」機能等を使用し、電子データでのやり取りを継続する。
- ・外部事業者等とのF A X送受信については、電子メールで送受信可能な手続き・やり取りを精査し、電子メールによる送受信への移行を推進することで、F A Xの原則廃止に取り組む。

(2) 押印・署名の原則廃止への取り組み

- ・各種参加・同意・承諾に関する書類、各種調査に関する書類等に関して、押印・署名の必要性を再検討し、アンケートフォームに置き換える等の代替手段への移行を推進することで、押印・署名の原則廃止に取り組む。

¹ 「G I G Aスクール構想の下での校務 D X化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告について
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_02597.html

- ・現状、紙で実施している家庭調査票や連絡カード等、個人情報を含む情報の収集に関しては、校務支援システム更改に向けて、収集方法を検討する。

重点テーマ②『校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一掃』

- ・校務支援システムへの名簿情報の入力作業フローについて、「紙からの転記」「2重登録」等の不必要な手入力作業が発生しないよう、データの連携方法も含めて見直す。
- ・校務系で取り扱う名簿情報と学習系で取り扱う名簿情報を同期する等、異なるシステムで同じ情報を入力しない仕組みを令和6年度中に構築する。

重点テーマ③『クラウドサービスの更なる活用』

- ・欠席連絡のオンライン化が未実施の学校もあるため、実施に向けたフォローを行う。
- ・学校から保護者への連絡ツール（お便り配信、アンケート）については、各学校で取り組み状況が異なるため、既に利用しているメール配信サービスやアンケートフォームを活用するといった検討や、市内小中学校で共通サービスを導入するといった検討を進める。

重点テーマ④『校務支援システムの更改に向けた検討』

- ・令和10年9月の校務支援システム更改に向け、校務系データと学習系データの連携を容易にし、積極的なクラウドサービスの活用を可能とする校務支援システムのクラウド化に向けて、セキュリティや最適なシステム構成の調査・研究を進める。
- ・校務支援システム更改後に利用するクラウドサービスについての情報収集・選定については、上記と並行して実施する。